

第 7 3 回 兵 庫 県 民 体 育 大 会

帆 走 指 示 書 (SAILING INSTRUCTIONS)

場 所 兵庫県芦屋市 兵庫県立海洋体育館
期 日 2019年 7月20日(土)～21日(日)
共 同 兵庫県、兵庫県教育委員会、(公財)兵庫県体育協会、兵庫県セーリング連盟
後 援 B&G兵庫ジュニア海洋クラブ
協 力 兵庫県立海洋体育館

【DP】はプロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定する規則を意味する。

【SP】は、レース委員会が審問無しに標準ペナルティーを適用することができる規則を意味する。

これらの違反と関連するペナルティーのガイドラインは、公式掲示板に掲示される。

標準ペナルティーを課された艇の得点略語は「STP」である。

レース委員会は抗議することもでき、その場合は審問を経てプロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定する。これはRRS63.1、A5及びA11を変更している。

【NP】は、この規則の違反は艇による抗議の根拠とはならないことを意味する。

これは規則 60.1(a)を変更している。

1. 適用規則

- 1.1 本大会は「セーリング競規則」に定義された「規則」を適用する。
- 1.2 RRS 42 の違反に対して付則Pを適用する。

2. 競技者への通告

競技者への通告は、大会本部に設置された公式掲示板に掲示される。

3. 帆走指示書の変更

帆走指示書の変更は、それが発効する当日のスタート予定時刻の60分前までに掲示される。

ただし、レース日程の変更は、発効する前日の19:00までに掲示する。

4. 陸上で発せられる信号

- 4.1 陸上で発せられる信号は、大会本部のポールに掲揚される。
- 4.2 【SP】【NP】音響1声とともに掲揚される「D旗」は、予告信号はD旗掲揚後50分以降に発する。艇は、この信号が発せられるまで、ハーバーを離れてはならないことを意味する。
- 4.3 予告信号予定時刻の50分前までに「D旗」が掲揚されない場合、そのレースのスタートは時間の定めなく延期されている。

5. レースの日程

5.1 レース日程とレース回数

日 程	成年女子セーリングスピリッツ級 少年男子 国際420級 少年女子 国際420級	成年男子 レーザー級 成年女子 レザーラジアル級 少年男子 レザーラジアル級 少年女子 レザーラジアル級
7月20日(土)	4レース	4レース
7月21日(日)	4レース	4レース

7月20日(土)については、追加の1レースを行うことがある。

5.2 最初のスタートの予告信号の予定時刻

7月20日(土) 10:25 セーリングスピリッツ級、国際420級の最初の予告信号の予定時刻

7月21日(日) 9:55 セーリングスピリッツ級、国際420級の最初の予告信号の予定時刻

スタートは、①セーリングスピリッツ級、国際420級 ②レーザー級・レーザーラジアル級の順にスタートすることし、それぞれのスタート時刻は、前のクラスのスタート後、実施可能となれば直ぐ行う。

5.3 1つのレースまたは一連のレースが間もなく始まることを艇に注意喚起するために、予告信号を発する最低5分以前に、音響信号とともに、オレンジ旗のスタート・ライン旗を掲揚する。

但し、風速及びフリートの状況により順番を変更することがある。

5.4 7月21日(日)は、14:00より後には予告信号を発しない。

5.5 ブリーフィング

7月20日(土)は9:00より、7月21日(日)は8:40より大会本部にてブリーフィングを行う。

6. クラス旗

クラス旗は、次のとおりとする。

クラス	旗
セーリングスピリッツ級	セーリングスピリッツ旗
国際420級	420旗
レーザー級	レーザー旗
レーザーラジアル級	レーザー旗

7. レースエリア

添付Aにレースエリアの位置を示す。

8. コース

8.1 添付Bの見取り図はレグ間のおおよその角度、通過するマークの順序及びそれぞれのマークを通過する側を含むコースを示す。

8.2 予告信号以前に、レース委員会信号船に「最初のレグのおおよそのコンパス方位」を掲示する。

8.3 艇の帆走すべきコースは次のとおりとする。

セーリングスピリッツ級、国際420級 …… コース1

レーザー級、レーザーラジアル級 …… コース2

9. マーク

9.1 マーク1、2、3S、3P、4Sおよび4Pはオレンジ色の円柱形のブイとする。

9.2 スタート・マークは、スターボードの端に位置するレース委員会信号船とポートの端に位置する黄色の円球形のブイとする。

9.3 フィニッシュ・マークは、スターボードの端に位置するオレンジ色旗を掲げたレース委員会船とポートの端にあるピンク色の円球形のブイとする。

10. スタート

10.1 スタート・ラインは、スタート・マーク上にオレンジ旗を掲揚しているポールと黄色の円球形のマークのコース側の間とする。

10.2 【NP】【DP】他のレースのスタート手順の間、予告信号が発せられていない艇は、スタート・エリアを回避しなければならない。

10.3 スタート信号後4分以内にスタートしない艇は審問なしに「スタートしなかった(DNS)」と記録される。これはRRS A4とA5を変更している。

10.4 RRS 30.4に規定されたレース委員会の掲示は、レース委員会信号船のスターン掲示板に掲示される。

11. コースの次のレグの変更

スタート後、コースの次のレグの変更は行わない。これは、RRS 33 を変更している。

12. フィニッシュ

フィニッシュ・ラインは、フィニッシュ・マーク上にオレンジ色旗を掲揚しているポールと、ポートの端にあるフィニッシュ・マークのコース側の間とする。

13. コースの短縮又は中止

レース委員会はRRS 32.1 以外に、レースの公正性に影響を及ぼすと考えられる大きな風向の変化・風速低下が発生した場合、コース短縮または中止することができる。

この項に基づきレース委員会がレースを継続又は中止したことについて、艇による抗議又は救済の要求の根拠とはならない。これは規則 62.1(a)を変更している。

14. タイム・リミットと目標時間

14.1 タイム・リミットとフィニッシュ・ウィンド及びターゲット・タイムは、次のとおりとする。

クラス	タイム・リミット	マーク1のタイム・リミット	フィニッシュ・ウィンド	ターゲット・タイム
セーリングスピリッツ級	60分	20分	10分	35分
国際420級	60分	20分	10分	35分
レーザー級	60分	20分	10分	40分
レーザーラジアル級	60分	20分	10分	40分

14.2 マーク1のタイム・リミット内に1艇もマーク1を通過しなかった場合には、レースを中止する。

14.3 RRS 30.3 および RRS 30.4 に違反しないでスタートした先頭艇が、コースを帆走してフィニッシュから起算されるフィニッシュ・ウィンド内にフィニッシュしない艇は、審問なしに「フィニッシュしなかった(DNF)」と記録される。この項は、RRS 35、A4 および A5 を変更している。

14.4 各クラスのターゲット・タイムどおりとならなくても、艇からの救済要求の根拠とはならない。この項は、RRS 62.1(a)を変更している。

15. 抗議と救済要求

15.1 抗議書はレース・オフィスで入手できる。抗議および救済または審問の再開要求は、適切な締切時間内にレース・オフィスに提出しなければならない。

15.2 それぞれのクラスに対して抗議締切時刻は、その日の最終レースに最終艇がフィニッシュした後、またはレース委員会が、本日これ以上レースを行わないという信号を発した後、どちらか遅い方から60分以内とする。

15.3 審問の当事者であるか、または証人として名前があげられている審問にかかわっている競技者に審問のことを知らせるため、抗議締切時刻後30分以内に通告を掲示する。

15.4 レース委員会またはプロテスト委員会による抗議の通告を、RRS 61.1(b)に基づき艇に伝えるため掲示する。

15.5 SI 1.2に基づきRRS 42 違反に対するペナルティーを課せられた艇のリストは掲示される。

15.6 SI 10.2、17、18、19、20、21、24 及び RRS77、付則 G、レース公示の違反は、艇による抗議の根拠とはならない。この項は、RRS 60.1(a)を変更している。

15.7 審問の再開の要求は、判決の通告を受けてから20分以内とする。この項は、RRS 66 を変更している。

16. 得点

- 16.1 大会が成立するためには、3 レースを完了することを必要とする。
- 16.2 5 レース未満しか完了しなかった場合、艇の得点は、レース得点の合計とする。なお、5 レース以上成立した場合、艇の得点は最も悪い得点を除外したレースの得点とする。これは RRS A 2 を変更している。
- 16.3 掲示されたレースまたはシリーズの成績結果の中に間違いがあるとして訂正を要請する場合は、艇はレース委員会事務局に用意されている「得点照会要請書」に必要事項を記入して訂正を要請しなければならない。
- 16.4 艇の得点は種目(各クラス)ごとの参加艇数に応じた得点とする。

17. 安全規定

17.1 チェックインとチェックアウト【NP】【SP】

- (1) 当日のレースに出走しようとする艇は、最初のレースのスタート予告信号の 50 分前までに大会本部に用意した書式にヘルムスマン自らがサインした後 出艇しなければならない。
- (2) 帰着した艇は、その日の抗議締切時間内に大会本部に用意した書式にヘルムスマン自らがサインをしなければならない。レース委員会は、正当な理由がある場合には、その時間を延長しなければならない。
- (3) リタイアした艇はできるだけ早くレース委員会(レース委員会艇)に伝えなければならない

- 17.2 レース委員会はレース艇が帆走不能もしくは危険な状態にあると判断した場合は、リタイアを命ずることができる。

18. 乗員の交代と装備の交換【NP】【SP】

- 18.1 乗員の交代は認めない。
- 18.2 損傷または紛失による装備の交換は、レース委員会の承認なしでは許可されない。
交換の要請は最初の適当な機会にレース委員会に行わなければならない。

19. 装備と計測のチェック【NP】【DP】

艇または装備は、クラス規則と帆走指示書に従っていることを確認するため、いつでも検査されることがある。海上では、艇はレース委員会のイクイップメント・インスペクター又はメジャーにより検査のために直ちに指定したエリアに向かうことを指示されることがある。

20. 支援艇【NP】【DP】

支援艇は認めない。艇が陸上を離れた後は、艇に対する全ての支援行為を認めない。

21. ごみの処分【NP】【DP】

ごみは大会運営艇に渡してもよい。

22. 賞

第 73 回兵庫県民体育大会の上位の艇に賞を与えるとともに、1 位の艇を第 74 回国民体育大会兵庫県代表選手候補として推薦する。

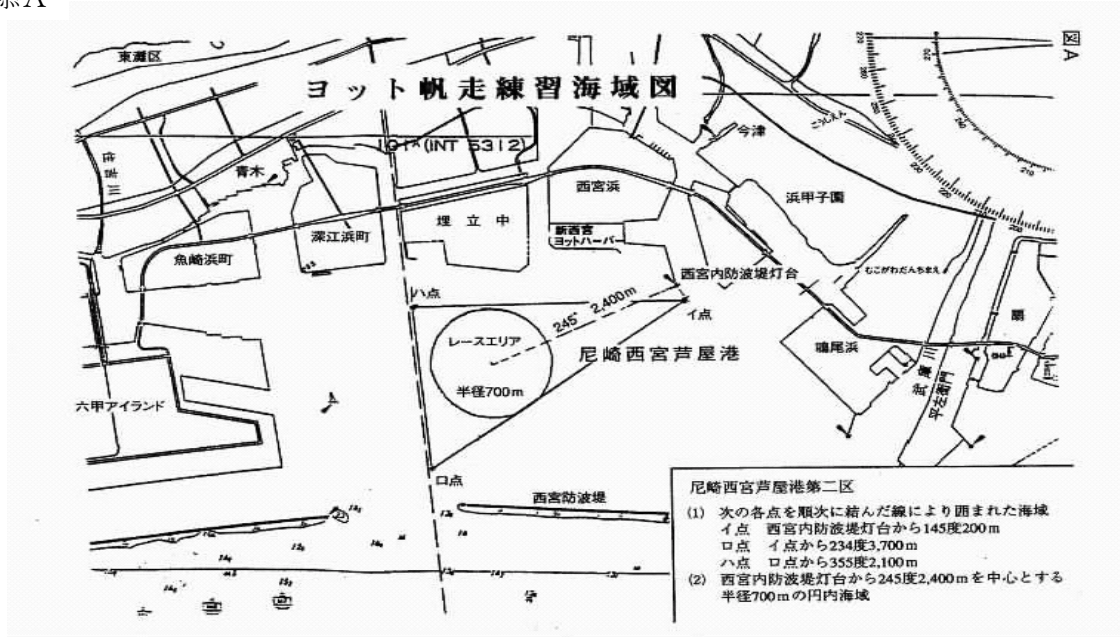
23. 責任の否認

このレガッタの競技者は、自分自身の責任で参加する。規則 4「レースをすることの決定」参照。
主催団体は、レガッタの前後、期間中に生じた物理的損害または身体障害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

24. 保険【DP】

各参加艇は、スポーツ安全保険、又は、同等の有効な第三者賠償責任保険に加入していなければならない。

別添A



別添B

コース"O" トラペゾイド アウターループ
 コース1 : スタート-1-2-3s/3p-2-3p-フィニッシュ

コース"1" トラペゾイド インナーループ
 コース2 : スタート-1-4s/4p-1-2-3p-フィニッシュ

